

# 算数科 小学校 1年

単元名 20までのかず  
啓林館「わくわくさんすう 1ねん」

## 単元の流れ（全6時間）

【第1時】

### 主な学習内容

教科書の写真を見て、それぞれの数量に目を向け、数を数える方法を考える。

10より大きい数の表し方を知る。

【第2時】

### 主な学習内容

「10といくつ」という数の構成を使って、10から20までの数構成を理解し、数の読み方、書き方を練習する。

【第3時】

### 主な学習内容

2枚のカードを用い、20までの数の大小比較を理解する。

【第4時】（本時）

### 主な学習内容

すごろくゲームを通して20までの数の系列について理解する。

「かずのせん」の空欄に適切な数字を入れる。

### 学習目標（評価規準）

前後の数字の順序性や数系列から、空いているところの見つけ方を考えている。（数学的な考え方）

20までの数の系列を理解している。（知識・理解）

【第5時】

### 主な学習内容

20までの数の構成について理解を深め、「10といくつ」という表現ができるようにする。

【第6時】

### 主な学習内容

20までの数の構成や、式の意味について理解する。

単元目標

20までの数について、構成と読み方、書き方を理解する。また、数の系列・大小関係を理解し、数直線上に表す。

### 単元構成の意図

本単元は、「10といくつ」のような10のまとまりの個数と端数という数え方を基にして20までの数の概念を習得することを主なねらいとしている。

数をイメージとして捉えやすい数図ブロックでの操作活動を重視したい。

最終的には、具体物がなくても20までの数の概念、数の構成、大小関係についての理解と、数直線上に表された数を読み取ったり、数直線上に表したりできるようにさせたい。

### 授業改善のポイント

- ① 算数科における言語活動の充実
  - ・ 「10と〇」という言葉の意味を、半具体物を活用しながら理解させ、繰り返し唱えさせ習熟を図る。
  - ・ ペア学習や話し合い活動を取り入れ、自信を持って考えを発表できるようにする。
- ② 目的のある算数的活動の充実
  - ・ 10までの数と同様に、操作活動を重視して、具体物、半具体物、数字を互に関連付けて指導する。
- ③ 実生活や、他教科、算数の学習での活用
  - ・ 自分たちの身の回りにある20までの数を探させ、算数への興味を高めるとともに、身の回りにある数に関心を持たせる。

本時の流れへ

授業展開例へ

評価問題

HOME

